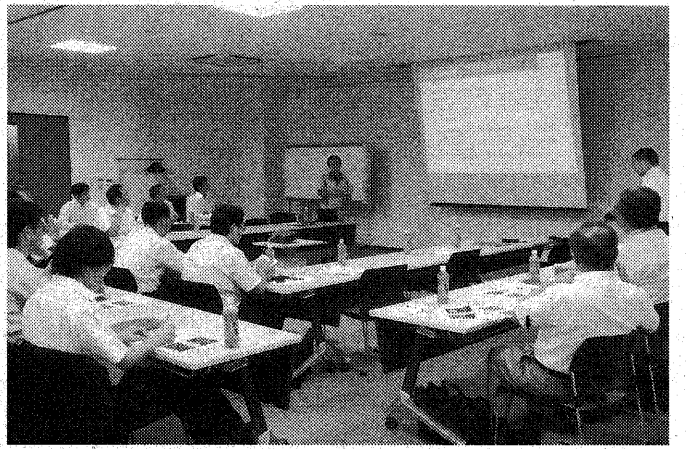


日立化成のFRPリサイクル技術 合樹協が見学会を実施

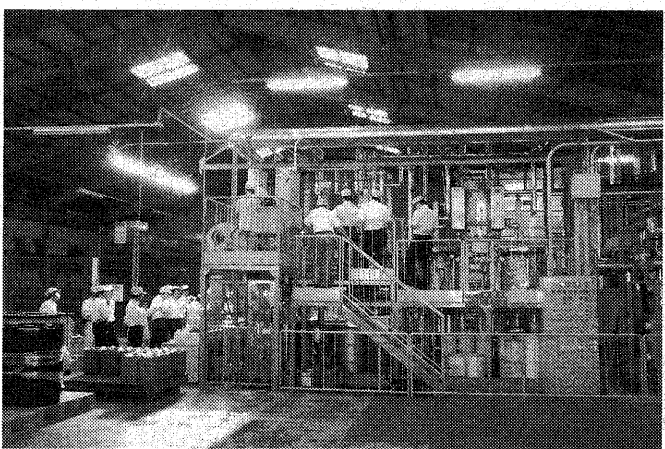
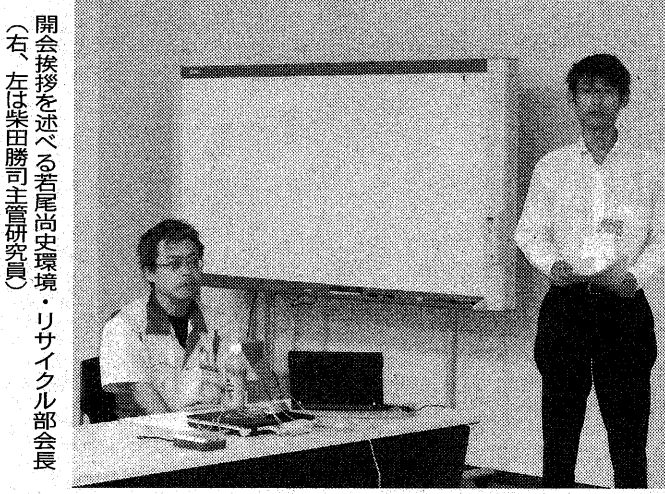
合樹協 工業協会 (東京都千代田区鍛冶町一〇一四) 電話 〇三三二九八八〇〇(三番) 環境・リサイクル部会 は、本年度から、高度なリサイクル技術を有する事業所の見学会を実施することになり、



「第1回リサイクル技術見学会」技術説明の会場風景 (右端は司会を務めた国友秀夫合樹協事務局次長)

四名が参加して日立化成工業(株)の「FRPリサイクル実用化試験設備」の見学会を実施した。

その第一回目として去る九月二日(木)午後、二名が参加して日立化成工業(株)の「FRPリサイクル実用化試験設備」の見学会を実施した。



常圧溶解法による複合材料リサイクル装置の見学風景 (左側は展示品を見学中の参加者)



柴田勝司氏より展示品の説明を受ける見学者

複合材料リサイクルの常圧溶解法

柴田主司 研究員 技術の詳細と特徴説明

と事業の展開、今後の重点事項「常圧溶解法による各種複合材料の再利用」について約一時間にわたる講演を行った。

柴田主司氏は、日立化成工業(株)の「常圧溶解法による各種複合材料のリサイクル技術」について、約一時間にわたる講演を行った。



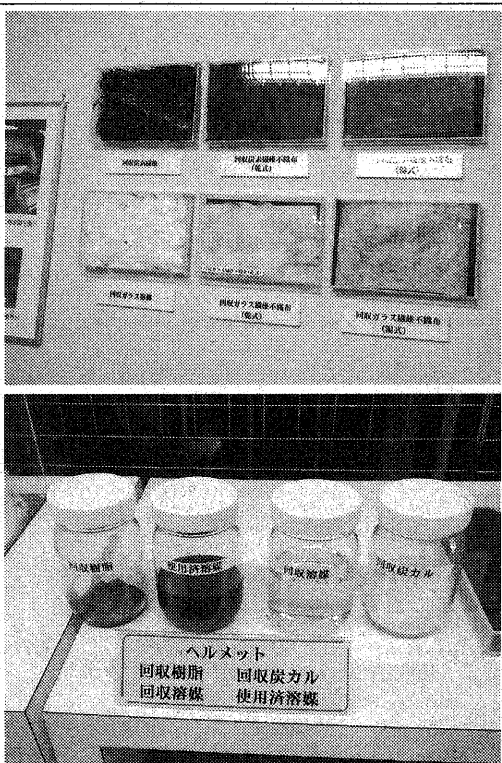
ヘルメットと漁船の溶解時間などの溶解状況と回収された強化材と樹脂分を示す(上) 展示用モデル変圧器やプリント配線板の溶解状況を示す展示

試験装置や回収資源

窓枠再製の事例等の展示も



板、変圧器モールドコイルなどの複合材料は、アルカリ金属塩酸溶液中で、常圧二〇〇度で溶解して可溶化し、強化材と樹脂の分離が可能である。



カード機によって回収繊維を不織布状に加工した状態を示す展示(上) 上列が炭素繊維、溶解回収された樹脂、溶解、充填材など

この部屋には、アクリル製の透明ケースに入れられたガラス繊維と炭素繊維が、それぞれ①回収繊維、②回収繊維不織布(乾式)、③同(湿式)の状態で展示されている。